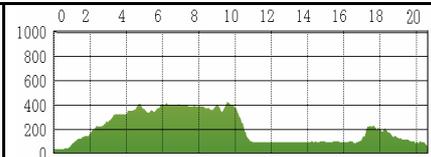


健康登山06: 周辺の山03(唐櫃越 ~ 保津川左岸)

コース	上桂駅 1.1km/21 林地 3.3km/65 保津小橋 3.5/56	墓地 1.4km/38 みすぎ山 1.1km/35 山道取付 1.3km/46	野鳥園 2.2km/62 宝泉寺 1.0km/14 林地 2.4km/34	沓掛山 1.6km/40 馬堀駅 1.7km/24 保津峡駅
水平距離	20.6km		断面図 縦軸: 高度m 横軸: 距離km	
水平換算距離	21.8km			
累計高低差	登り1078m、下り1046m			
標準歩行時間	7:17			
実績歩行時間	7:12			



山行報告

山行日 2005・11・03(木) 天候 曇 参加者 7名

上桂駅7:55 墓地8:15 野鳥園(ハイノキ坂分岐)9:00 沓掛山9:45 林地10:31
 行動 みすぎ山11:47~12:15 宝泉寺12:51 馬堀駅13:08 保津小橋13:37 請田神社13:59
 山道取付14:28 林地15:09 保津峡駅15:35 京都駅16:02

記録

定例の第1木曜日が祝日と重なったが、ゲスト参加者2名を含む7名が参加された。終日曇天だったが気温は適度に低く、絶好のハイキング日和となった。唐櫃越は丹波と山城を結ぶ山陰道の間道として知られ、明智光秀の軍勢も本能寺を攻めるときに通ったと言われている歴史街道でもある。南北を京都から老ノ坂を越えて亀岡に至る国道9号線と保津川沿いを走るJR山陰線に挟まれた標高400メートルほどの山地である。阪急上桂駅から沓掛山とみすぎ山を経て約12km、4.5時間ほどで亀岡に出られる。上桂駅から西へ進み、竹林を抜けると桂坂野鳥園の散策道と合流する。ここから前回の第5回健康登山で歩いた善峰寺や小塩山など京都南部の景色が一望できる。さらに30分ほど歩くと右手に三角点のある沓掛山に着く。木立の間から7km離れた愛宕山が正面に見える。唐櫃越の特徴は随所で愛宕山を間近に見られることである。沓掛山から40分で老ノ坂から登ってくる林地に出る。急に展望が開け愛宕山が見える。ここから延々と林地を歩くことになるが概ね北側が開けていっているんな形の愛宕山を見ることが出来る。みすぎ山の鉄塔下で景色を見ながら昼食をして馬堀駅へ下った。馬堀駅の1次解散で3名が帰り、残る4名が保津小橋を渡り保津川左岸を通って保津峡駅へ向った。行楽シーズンの祭日で保津川下りの船がひっきりなしに観光客を運んでいた。保津川が蛇行するところは山越えの道を通り保津峡駅に着いた。この記録を書いた4日は快晴だが山は霞んで遠望はきかない。多分湿度によるものと思うが昨日は曇りにもかかわらず山がよく見えて運がよかった。

周辺の山（唐櫃越～保津川左岸）



野鳥園へ向う
08:57



散策路から
京都南部
09:15



沓掛山から
愛宕山
09:46



沓掛山にて
09:49



林道から
愛宕山
11:01



林道から
愛宕山
11:15



みすぎ山から
下山
12:33



保津小橋を
左岸へ渡る
13:37



請田神社前を
を通過
13:59



急流を下る船
14:05

名所・旧跡ミニガイド（周辺コース：唐櫃越～保津川左岸）

今回のコースには著名な名所旧跡がありませんので『唐櫃』についてまとめました。

今回歩く唐櫃越

唐櫃越：唐櫃越は本能寺の変（1528）で明智光秀が通った道です。

コース途中にある王ガ辻（標高 431m）あたりから見る愛宕山は威風堂々としていて見ごたえがあります。

唐櫃越は『太平記』に散見され、山陰道の老ノ坂の間道として丹波・山城間の軍道に利用されたようです。

その他の唐櫃または唐櫃越について

有馬近くの唐櫃越

唐櫃台駅：神戸電鉄の有馬口より 1 駅手前の駅

裏六甲の逢山峡～仏谷～鬼ヶ島周回コースまたは逢山峡～湯槽谷山～有馬温泉コースで有馬口駅から逢山峡へ行くまでの途中に『唐櫃越』がある。東山橋の手前に神戸市水道局の石柱と唐櫃接合井がある。

唐櫃台の語源となった唐櫃の集落：

昔、神功皇后が三韓より持ち帰った櫃（ヒツギ）をこの地に埋めたのでその名が起ったと伝えられる由緒ある村落である。

近年は都市化が進み唐櫃台として発展している。

唐櫃：カラトまたはカラビツと読み、韓櫃または辛櫃とも書く。

脚のついた唐風の櫃、檜の白木造りが多いが赤塗、黒塗、蒔絵などもある。衣服、甲冑、文書などを入れる。

京都の唐櫃越の意味

『越』の意味は奈良時代以後に用いられた峠の意味がある。

奈良時代以前は『坂』を用いていた。平安時代以降は『峠』という国字が定着する。

『峠』が採用されて以来××坂峠などと二重読みするようになった。

例：老ノ坂、逢坂関、途中越、唐櫃越、堀越峠、緑坂峠 など